

フークトーフ通信 64

地域の小さな本屋として

荒木康子(福島市)

はじめまして、はなみずき書店です。

2年前まで福島県立美術館の学芸員をしていましたが、退職して本屋を始めました。昨年12月25日に市内森合の自宅の一部を改修し、小さな新刊書店を開店。まだ4ヶ月の新米です。

私は本の虫というわけでもなく、古本のマニアでもないのですが、「退職したら本屋になるう」という全く根拠のない思いを10年くらい抱えていました。「本屋」そのものが好きだったのかもしれないま



若いアーティストにデザインしてもらった内装

せん。無謀といえば無謀です。「本当に大丈夫なの？」という人もいました。大方の「まあやってみれば」という無責任な発言に、「そうだよね、時間はどんどん過ぎちゃうし」と勢いで突っ走っております。さて、始めてみて気がついたことがいくつかあります。一つ目は、世の中には面白そうな本が溢れていること。

今まで美術関係の本を仕事からみて読むことが多く、それ以外の分野に手を伸ばす余裕がありませんでした。でも一応本屋ですから他の分野に目を向けてみると、面白そうなことを考えたり実践している人たちが沢山いらつしやるんですね。また、お客様に性懲りもなく「面白い本があったら推薦してください」とお願いしています。たまたま居合わせたお客様とみんな一緒に話をしていの中で、「これ面白かったですよ」と教えていただいて並べた本もあります。すると離れていたものが次第に繋がっていきワクワクします。

二つ目は、本屋はキュレーターだということ。

どの本とどの本を隣り合わせにするか結構悩みますが、それは展覧会で展示を考えることに似ています。まだ初心者なので、変な並び方をしているかもしれません。私自身にも発見があります。

三つ目はご近所の知り合いが増えたこと。

これまでご近所にどんな方が住んでいらつしやるのかあまり知りませんでした。ところが、知らない方が「斜め向かいのうちの息子です」といつて小さいお子さんを連れてこられたり、「迷いませんでしたか」と聞いたなら「うち斜め裏です」と言われてびっくりしたり。そして次第に皆さんの顔が見えてきました。

商売は大変だと実感していますが、まずは小さなつながりを大事に、地域の本屋として継続していけるよう頑張ってみます。何かあれば是非お声がけ下さい。注文も受け付けております。よろしくお願いたします。

はなみずき書店 荒木康子

〒960-8003 福島市森合字丹波谷地前29-10 090-1490-5677
hanamizukibs@gmail.com Instagram: @hanamizukibs